

いびがわマラソン 2019 へのボランティアに参加して

令和1年11月10日(日)、公益社団法人の活動の一環として、いびがわマラソン2019へボランティアに参加してきました。いびがわマラソンは1988年にはじまり、今年で32回を数える歴史あるマラソン大会で、東海三県で初の日本陸連公認コース(今年度はコース一部変更により申請中)を取得した市民マラソンです。清流揖斐川と紅葉の山々をみながら走る風光明媚なコースは、高低差約127メートルあり、大自然の美しさと厳しさを同時に味わえるコースとなっています。

今回は約10,000名の出場者と約1,800名のボランティアにて行われました。当県士会員からは19名のスタッフにより、各救護所に2名ずつ(ゴール地点では3名)待機し、対応してきました。救護班としての対応で最も多かったのは、筋疲労によるマッサージとストレッチで、特にゴール地点では多くの方が希望されました。また低体温症状により救護所を訪れる方が多く、毛布にて保温していただくよう対応し、微力ながら貢献してきました。

当日は、天候にも恵まれ絶好のマラソン日和となりました。日頃の練習の成果を発揮する場であり、熱気が伝わってきました。出場ランナーが一生懸命取り組む姿や、子供から大人まで大きな声援を送る姿に感動しました。

今回、ボランティアの募集案内と取りまとめをしていただいた、メディカルサポート部の住若先生、平日にも関わらず、事前説明会に参加していただいた方々、当日ご協力いただいたスタッフの方々に大変感謝しております。誠にありがとうございました。

